

# 年頭所感



日本私立小学校連合会  
〒102 - 0073  
東京都千代田区九段北 4 - 2 - 25  
私学会館別館 6 階  
電話 03 (3261) 2934

新しい年を迎えさせて頂きまし  
た。本年が全ての私立小学校に於い  
て想いが実現し、喜びの多い年にな  
ります事を心よりお祈り申し上げま  
す。  
さて、現代社会はグローバル化が  
進み、著しい社会変化と科学技術の  
高度化の中で、価値観が多様化して  
参りました。今後の日本の教育は、  
国が定める教育内容や方法だけで  
は、これからの世界の人々と対等に  
活躍する青年の育成は限られたもの  
になってしまう可能性があります。  
私立小学校はそれぞれの学校が建  
学の精神に基づき、特色のある教育  
を時代に即して実践し、個性豊か  
でバランスのとれた人間を育てて参  
りました。そして「本当の教育」を  
求めて絶えず新しい実践研究を試み  
て、初等教育における先駆的教育を  
世に示し、公教育に貢献しており

## 年頭所感

### 決意を胸に

日本私立小学校連合会会長  
国本小学校校長

矢崎 昭 盛

学校は確固たる信念をもって人間形  
成に努める決意と共に、自負心と使  
命感を持って、国に活力を与え、親  
のニーズに応えるべく教育に邁進し  
て参りましょう。



ます。  
日本私立小学  
校連合会の研究  
主題である「私  
学ならではの  
小学校教育の展  
開」を全うする  
為に、各私立小

年頭所感

つながり

日本私立小学校連合会副会長  
昭和女子大学附属昭和小学校校長  
小泉清裕

現在、勤務校の校長と合わせて幼稚園の園長も兼任している。幼児教育については、自分自身が幼児教育

私にとっては、自分自身が幼児教育について学ぶところから始めなければならぬ。

幼児教育についてのさまざまな本を読みあさっていく上で、あるひとりの人に行きついた。倉橋惣三氏である。一八八二年（明治十五年）生まれであるから、明治、大正、昭和と三つの時代を生き、一九五五年（昭和三十年）に亡くなった。私がまだ保育園に通う前のことである。

『育ての心』などの本を読んでいくうちに、昭和四十年に『倉橋惣三選集』が出版されていることを知った。初版でなくてもいいから、四巻のこの全集をほしくなった。しかし、調べてみても、なかなか手に入らなかった。

先日、新築となつた、幼稚園

舎の中の新しい書架に『倉橋惣三選集』と書かれた四巻の本があるのを見つけた。新園舎への

引越しがあつたことで発見ができたのである。思わず手に取って、最初のページを開いた。

そこには、「祝学制百年教育功労賞人見楠郎先生 惠存 著者」という文字が書かれていた。人見楠郎先生は本学の二代目の理事長であり、幼稚園の園長や小学校、中学校、高校の校長、そして大学の学長を長く務められた、日本私立小学校連合会の会長の任にも長く就かれていた方である。このページを開いたとき、「つながつていた」という思いが込み上げてきた。どのようなつながりであつたかは不明であるが、少なくとも、倉橋惣三氏と人見楠郎氏とがつながつていたことは間違いない。この四冊をできるだけ早いうちに精読し、幼児や児童にとって、人生の糧になるような教育を進めていきたいと思う年明けである。

年頭所感

聞き合うこと

日本私立小学校連合会副会長  
桐光学園小学校校長  
斎藤 滋

明けましておめでとうございませす。

今年も、子どもたちの笑顔がたくさん見られ、あたたかなそしてやさしい心の通い合う年にしていきたいと思ひます。

関東地区では、年四回の校長研修会・情報交換会を行い、研修、情報の共有、意見交換を行うことができました。各校が抱える悩みや課題をお聞きしそれに対する意見交換ができることや、特色ある教育活動、防災・学校安全に対する取り組みなどをご紹介いただくこともでき大変よい時間を過ごすことができました。

また、十六に分かれた部会でも、研修に対する意識の高まりを感じる一年でした。四月中旬に行われている半日研修会では、一年の活動計画について話し合うだけでなく、すで

にその時間を研修の場として有意義に使っていただいています。まだこれで十分ということではないでしょうが、これ

からも先生方の研修に対する熱意が大切にされる協会運営を心がけていきます。

さて、毎日の子どもたちとのふれ合ひは、私たちの一番の楽しみです。子どもたちには私たちに話したいことがたくさんあります。聞いてもらえることが嬉しい、聞いてもらえらる心が落ち着く、そういう子どもたちの気持ちを大切にしなければなりません。ときに、子どもたちから話を聞き出さなければならぬこともあります。実はこれが難しいと感じることがあります。子どもがちよつと問題のあることをしてしまうと、つい「どうしてそんなことをしたのかな？」と聞いてしまうことがありますが。解決を急ぐとどうしてもこうなりがちですが、実はかえってこういう声かけは問題の解決を遅らせるだけでなく、子どもの心を閉ざして

しまうことにつながることもありま  
す。そんなときは、子どもが話しや  
すい問いかけの仕方があります。こ  
の場合ですと、「あなたは何がした  
かったのかな？」かもしれませ  
ん。  
大切なことは子どもが話しやすい  
状況を作ってあげることでしょう。  
私たちが少し考えた話し方ができ  
るできないかによって子どもの表現

しようとする気持ちが変わります。  
話を聞く（聴く）ことが、心のつ  
ながりを作り、信頼関係を作ります。  
少しの工夫でそれができるのであ  
れば、その工夫の仕方を学んでみたい  
です。



勉強するこ

とは『生きる  
力』を養うこと  
です。目標に向  
かって努力す  
ることや、集中  
して物事を考  
える力などを

年頭所感

範を垂れる

日本私立小学校連合会副会長  
甲南小学校学園長兼校長

大谷 彰 良

新年明けましておめでとうござい  
ます。

小学生の悩みの多くは、「なぜ勉  
強しないといけないのか。」という  
ことです。

勉強にはいろいろあります。知識  
を身につける、体や精神を鍛える、  
こころ豊かな人格を高めるなど  
です。つまり、知育・徳育・体育のバ  
ランスを兼ね備えた人間力の育成の  
勉強です。

つけるためです。たとえ知識が直接  
将来の役に立たなくても、真面目に  
取り組んだいろいろな経験は必ずや  
生きる力となることには間違いあり  
ません。そういう意味でも、初等教  
育においてはいかにして子供の個性  
に応じた、天賦の才能を啓発させる  
かが、生きる力の素地としても大事  
であります。  
小学校教育に携わる者としては、  
「ひとに優しく、自分に厳しく」を

モットーに、率先垂範を心がけるこ  
とで、子供たちの模範となり、生き  
た指導ができると思うのです。  
例えば、教室や廊下に落ちてい  
るゴミを、子供に拾わせるのもよいの  
ですが、教師自らが拾い、範を示す  
ことで、子供たちへの指導により効  
果を生むように思われます。このよ  
うに、教師が範を垂れることが子供

たちへの影響に大きく左右すること  
は言うまでもありません。  
教師は、自分に厳しくを念頭に置  
きながら、子供たち一人ひとりに優  
しく、そして甘やかすことなく接す  
ることを大切にし、模範となる教師  
を目指していきたいものです。

新しい年に

年頭所感

日本私立小学校連合会副会長  
長崎南山小学校校長

近藤 角 也

新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、長崎地区におきまして第  
六十回という節目の幹部研修会を開  
催することができました。多くの先  
生方にご参加いただきました。行き  
届かない点が多々ありましたことを  
お詫び申し上げますとともに、皆様  
のご協力に感謝とお礼を申し上げます。

今回の研修会についてだけではあ  
りませんが、何事も振り返ると「あ

れをとか、こ  
れをとか」忘れ  
物がたくさん  
あつたように思  
います。

大事を成さんと欲する者は、  
まず小事を務むべし。  
大事を成さんと欲して小事を怠り、  
その成り難きを憂いて、  
成り易きを務めざる者は、  
小人の常なり。  
それ小を積みば大となる。  
二宮尊徳先生のお言葉です。千里  
の道も一歩からとも申しますが、目  
の前のちよっとした書類を「後で」

と回してしまい、それこそ後の祭りになってしまいうことも往々にしてあることでした。

今年も、自分自身でも節目となる年にあたり、どの年のスタートにもまして意義深く考えています。小さなことにも丁寧に取り組み、コツコツと積み上げ、しっかりとした成果を出せるよう励んでいきたいと思ひます。

本年もよろしくお願ひいたしまひます。

**年頭所感**

日本女子大学附属豊明小学校  
校長 篠原眞澄

謹んで年頭のご祝詞を申しあげます。

昨年は、六月に日私小連東京地区教員研修会会場校を務めさせていただき、大変お世話になりました。皆様のご協力のおかげで、無事研修会を行うことができました。会場校

として多くの良き勉強をさせて頂きました。各研究部の皆様にあらためて御礼いたします。これからも、私達は私学の仲間と共に、建学の精神、教育理念に誇りを持ち、子ども達が心豊かな学校生活を送れることを大切に参りたいと思ひています。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

**一人ひとりの、幸せな子ども時代のために**

桐朋小学校  
校長 中村博

桐朋小学校は、子ども一人ひとりが、現在を充実させて生きることに、その子らしく生きることを大切にする学校です。子どもを原点にした教育の実現、社会の主人公となりゆくための根っこを育てることを教育目標としています。

一人ひとりがかけがえのない価値を持つ子どもたち。子ども自身が自分の、他者のかけがえのなさを深く信頼できるようにすることを大切に

しています。桐朋小学校の子どもたちは学校が大好きです。私たちは幸せな子ども時代のために、子どもが学校生活を楽しみたいと思えるようにしたいと考えます。そのことが、一人ひとりが社会の主人公となりゆくための根っこを育てることにつながると思ひます。

**建学の精神に生きる**

仁川学院小学校  
校長 竹内昭彦

世界の様相が大きく変わる中、聖フランシスコの「平和と善」、聖コルベの「隣人愛」を建学の精神「和と善」と謳い、豊かな人間性と豊かな心の育成を図ることを一貫して大切にしてきた仁川学院は、今年創立六十周年を迎えます。

二十一世紀に生きる子どもたちは、さらにグローバル化が進む情報過多の混沌とした社会で生きていかなければなりません。このような時代には、普遍の価値が更に問われて

**現状維持は後退**

聖心女子学院初等科  
副校長 大島久幸

くることになるでしょう。二人の聖人の心は、どのような時代にも支えとなる心であり、普遍的な価値を持つものと確信します。この心を次の時代へとつなぐ使命を担って歩んで行く所存です。

新しい年を迎え、どの学校でも来年度の計画を立てている時期かと思ひます。

教育界では、「例年通りです」という提案が非常に多いと感じています。現状に満足しているのか？新しいことを考えるのが面倒なのか？外から見ると不思議な光景に映ると思ひます。確かに、変わらないものも変わってはいけぬものはありますが、指導の過程や方法は柔軟に変えるべきであると考えます。一般社会では、「変わらないことは、悪である」と言われていると伺いました。すなわ

ち「現状維持は後退」なのです。  
年頭に当たり、子どもたちのためにより質の高い教育を提供するために、勇気をもって改革を進めたいと考える今日この頃です。

### 伝えたいこと

清明学園初等学校  
校長 加藤 一 俊

私が中学二年生の時に若き先生が担任になりました。腕白坊主だった私ですが若き先生に完敗の一年間でありました。どんな生徒であつても言い分を聞いてくれたこと。やつてはいけないことをやったときには先生は知つても黙つておられたような気がしております。完敗です。

若き担任の先生から学んだこと。聞いてくれる優しさ。知つていても聞かない優しさ。時には厳しく言う優しさと言わない優しさも学びました。若き先生方に伝えていく機会を考えております。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 家庭・父母は大地

むさしの学園小学校  
校長 江 幡 清 彦

万延元年、日米修好通商条約批准の為に米合衆国を訪れた徳川幕府の使節団の印象を、ホイットマンは、西の海を越えて遙か日本から来た刀を二本手挟んだ、頬が日焼けし、礼儀正しい使節達。  
無蓋の馬車に身を委ね  
無帽のまま動ずること無く  
今日、マンハッタンの街を行くと謳っています。立ち居振る舞いに滲み出ている気品と威厳、毅然とした態度に心を揺さぶられた米国民は、ビルから紙吹雪を舞いて歓迎したそうです。

父母そして社会が、その様な日本人を育てたのです。我が子が起きている時間帯に、父母が、父母らしく役割を演じ続けていたからです（家庭で寛ぐのは子どもです）。  
この様な凛とした気品のある人を育てることが、家庭教育で最も重要です。そして、父母の労苦を支える

のが、学校教育だと考えます。

### 学校経営を戦略的に8

福岡海星女子学院附属小学校  
校長 山 田 耕 司

新春のお慶びを申し上げます。  
九州で唯一人口増加進む福岡市ですが、その内訳には私立校入学希望対象者が含まれず、厳しい社会状況の中、学校経営全般を危機管理の視点から捉え、「先を見る教育」経営戦略を進めております。

①カトリック校教育の一つの特色「モンテッソーリ教育」を核にした〇歳から十二歳までの一貫教育に取り組んでおります。隣接するこども園と校庭背後には前方後円墳の名残り「ガイアの森」があります。この環境で日常的に「遊びと学び」が児童と幼児に共有される教育企画を展開中です。連携型教育課程つくりのためにも教職員の積極的な交流を図っております。

②同じキャンパスにある高等学校で、将来保育士・幼稚園教諭・小学

校教諭を目指す生徒を育てる「こども教育進学コース」を開設しております。この生徒たちは、小学校の行事や授業に参加し相互交流で学び合っております。

③ニュージールランドからのインターシップ生や高校留學生を受け入れ、小学校英語活動の助手に起用しています。

④学院にアクティブ・ラーニングホールを建設中です。この学習のハイロットを小学校が担います。その成果を二〇一七年の九州地区私立小学校教員研修会（会場校）で公開する予定です。

⑤教員個々の力量を高めるには研修が要です。校内テーマ研修は勿論、福岡市教育センター研修や公立校研究発表会・教科サークル研修にも積極的に参加を促しています。一学年一学級の小さな学校ですが本年も宜しくご交誼ご指導の程お願い致します。



**ト**キワ松は  
創立百周年

トキワ松学園小学校  
校長 丸山 明

新年おめでとうございます。今年  
は本校にとりましては、学園創設百  
周年の記念すべき年です。創立者三  
角錫子先生は、平塚らいてふからも、  
「当時の女流教育家がみな保守的な  
中で、稀な進歩的な・・唯一の方  
だった」と評されるほどの一流の教  
育家でした。

それから百年、現在では小学校・  
中学校・高等学校そして横浜美術大  
学を擁する一大学園に発展してきま  
した。

小学校は六十五年を共に歩んでき  
ましたが、「健康・感謝・親切・努  
力」の教育目標のもと、家族的な温  
かさや少人数教育、体験を重視した  
のびのびとした校風に多くの皆様が  
「我が子をトキワ松で」と預けてく  
ださっています。新世紀のトキワ  
松学園が、新しい一歩を踏み出し  
ます。

**有**言実行で  
ともに成長を

成田高等学校校付属小学校  
教頭 木内 潔

新年のお慶びを申し上げます。  
学校では、全校児童集会在年数回  
開催され、私自身子ども達に、様々  
な話題をテーマに話をする機会が  
度々あります。話をする上において  
は、子ども達の心に響く話を心がけ  
ています。そこで、実体験の事や子  
ども達に共通する話題、興味関心事  
等を考えています。

昨年の秋の集会では、「目標を立て、  
努力して達成させましょう。先生の  
目標は、毎日読書する事、掃除タイ  
ムで学校のトンネル（中高との連絡  
通路）をピカピカにする事です。」  
と伝えました。その数日後、トンネ  
ルを掃除し終わった時、それを見た  
子ども達から、称賛と感謝・労いの  
言葉を受けました。

これからも、有言実行を示しなが  
ら、子ども達とともに、よりよい成  
長をはかっていきたいと思ひます。

**子**ども達に  
豊かな教育を

聖坂養護学校  
校長 松井 務

全ての子どもたちが豊かな教育を  
受ける権利が保障される時代となっ  
た。今年の四月より障害者差別解消  
法が施行される。障害者権利条約は、  
全ての人の人権を最大限に尊重すべ  
き事を高らかに謳っている。どの子  
も個性を尊重され主体的に学ぶ事が  
保障される。

私たち教育者は、子どもたちの権  
利を尊重し弛まぬ努力を続けてき  
た。これからは、日本国憲法と障害  
者権利条約が子どもたちの健やかな  
成長を担保する。戦後の厳しい環境  
の中で育った団塊世代には眩しいほ  
どの境遇だ。

子や孫の為に更に豊かな教育を実  
現したい。



**学**び続ける教師に

帝塚山小学校  
校長 池田 節

新春にあたり、過去を反省して新  
たな目標を抱くことは、人間にだけ  
与えられた知恵です。昨年は、様々  
な書物から学ばせていただきまし  
た。『根を養えば、樹おのずから育  
つ』（東井義雄氏）からは、本校教  
育の目指す道を教えていただきまし  
た。『置かれた場所で咲きなさい』（渡  
辺和子氏）からは、校長という職務  
への覚悟を学びました。『魂を磨い  
ていくことが、この世を生きる意  
味』（稲盛和夫氏）からは、欲に流  
される自分を叱咤することができま  
した。

何年か校長をしていると、自分の  
考えや判断が本当に正しいのか、ふ  
と不安になることがあります。『学  
び続ける教師だけが、人を教える資  
格がある』という言葉の重みを、今  
年もしつかり感じて精進したいと思  
ひます。

### 年頭に思う

国府台女子学院・小学部  
学院長 平田史郎

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、一昨年同様内外ともに天災や事件や事故が相次ぎ、このまま残念な年として終わるのかと悲観していたところ、秋になって早々、梶田隆章教授がノーベル物理学賞、大村智教授が医学・生理学受賞の栄に浴されるという、二年連続の快挙の報がもたらされました。

特に高校教師の経験も持つ大村智先生の研究は、毎年二億人もの人を感染症から解放するという大偉業であります。

「道心の中に衣食有り・衣食の中に道心無し」とは最澄の言葉ですが、大村先生はこれをまさに身をもって示してくれた気がいたします。

私などには到底真似のできない事ですが、本年も道心だけは忘れぬよう心掛けたいと思いますので、従前に変わらぬ御指導をお願いいたします。

ます。

### 新しい年への抱負

京都聖母学院小学校  
校長 澤井広子

合掌

去年度は子どもたちと触れ合う時間を多く取り、話すことができました。おかげで児童との距離が縮まったように感じています。

近年、本校は授業にアクティブラーニングを多く取り入れていきます。授業を見ている子どもたちが体験や話し合いを通じて生き生きと学習している様子がよくわかります。今年子どもたちが授業の中で自分の考えを理論的に説明する力をつけていきたいと考えています。そして聞いている人たちを納得させるだけのプレゼン能力をつけたいと思います。そのためには自分の考えを裏付ける資料が必要となります。本やネットからの情報収集が必要な資料をそろえ、それらを有効に使いながら自分の考えを発表させたいと考えています。また、考えを文章に表

す力も大切です。なかなか教材研究が大変ですが先生方とよく話し合っ

### 新しい年を迎えて

追手門学院小学校  
校長 東田充司

新年あけまして

おめでとうございます

明治二十一年大阪偕行社附属小学校として開校した本校は、本年度創立百二十八年を迎えます。欧化政策で失われつつあった礼儀礼節を中心とする躰教育を重視し、鎖国で閉ざされてきた日本の国際化を推進するリーダーを育成する教育理念は、追手門学院小学校となった今まで不変です。

価値観が多様化した今日では、ともすれば「不易」より「流行」が持て囃される風潮が顕著です。私たちが取組む初等教育では、人格形成の基礎づくりこそが大切です。目先の価値観にとらわれない、不変の真理を追究することが、今この時代だけ

らこそ必要です。

教職員ひとり一人が「師」として子どもや保護者から信頼されること

### 「学び合う」授業を!

目黒星美学園小学校  
校長 小島理恵

新春のお慶びを申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

来る六月三日、第五十三回東京地区教員研修会が本校を会場に開催されます。これを機に、教職員一同授業力のさらなる向上を目指し、一丸となって準備に勤しむ日々を過ごしております。公開授業を行う教員だけでなく、皆で同じ教材を深め意見交換しながら「学び合う」授業が行えるよう、研修に力を入れているところでございます。何分、小さな敷地を一杯使っている学校ですので、研修のためには手狭であり心苦

しく思いますが、どうぞご容赦ください。

本校のモットーである「いつも子どもと共に」を実践しつつ今年も研鑽して参ります。六月、皆様のお越しを心よりお待ちしております。どうぞ、よろしくご指導お願いいたします。

**心豊かなリーダーを育てる**

江戸川学園取手小学校  
校長 若林 富男

新春のお慶びを申し上げます。

茨城県初の「小・中・高十二年の一貫教育」校として開校した本校は、四月に三年目を迎えます。これで四年生まで揃うこととなります。子どもたちをグローバル社会で活躍する「心豊かなリーダー」に育てることを目指しています。心の教育とリーダーシップ教育をするために、名著「七つの習慣」をベースとする「リーダー・イン・ミー」のプロگرامを、道徳の学習に導入しています。これは自己リーダーシップを高

めるもので、チームワーク力や率先力、問題解決力などを養い、その力が学力向上につながります。七つの習慣をつけることで、主体的協働的に行動できるようになります。

「生徒の夢は学校の目標」それぞれの夢の実現に向けて努力する子どもたちを、今年も学校を挙げて応援していきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

**向き合う一年に**

福岡雙葉小学校  
校長 中村 和子

今年四月から新校舎で学校生活が始まります。一年半ぶりの御所ヶ谷。移転先の大名地区の方々と共に重ねた多くの経験を土台にさらに雙葉の歴史を前進させます。

校長室にはいろいろな声や音が聞こえてきます。発声練習する声、職員室の先生をお呼びする声、廊下を通る足音、玄関を掃除する筈の音。声や音の主である子どもたちの表情

や思いが伝わってきます。

年頭にあたり、子どもたち、保護者、教職員が一致して「祈る心学ぶ心 援け合う心」と真剣に向き合う年にしなければと考えています。そのためには建学の精神を常に意識し、変えることのできるもの、変えることのできないものを識別する知恵を身につけたいと考えています。

どうぞよろしく願います。

**Mastery for Service**

関西学院初等部  
校長 福田 靖弘

皆様、新年明けましておめでとうございます。

関西学院初等部は、創設八年目を迎えています。テーマは「夢みる心 叶える力」を育む学校。

「会いたい友がいる」「受けた授業がある」。学校を終えると、いち早く「帰りたい家がある」と口にする子どもたち。こうした声に接する度に、子どもの数だけ夢があり、夢の数だけ明日があると励まされま

す。

子どもたちにとって大好きな聖書の言葉があります。「ひとりよりもふたりが良い。共に労苦すれば、その報いは良い。」(コヘレトの言葉四章九節) 学校は学ぶに値するものがいっぱいある。しかも、その多くは一人で学ぶよりみんなといっしょに学ぼうが楽しい。学力が育つということは人間としての向上を意味するものでなければなりません。友と学び、力をつけ、その力を他者のために存分に生かしていく未来。

今日受けた教育の確かさは、一生に及ぶことでしょう。

**創立一〇〇周年を迎えて**

帝塚山学院小学校  
校長 有村 俊治

明けましておめでとうございます。

本校は、大正六年(一九一七年)に開校し、今年一〇〇周年を迎えます。本学の教学理念は、「人間として生きる力を育てる」であり、開学の

原点は、「自学主義」です。本学において、主体的に学び、自ら行動し、課題の発見と解決に向けた取り組みが、時代を超えた不変的教育の真髄となっています。

本年も、本校では、四つの児童像を目指し、日々の教育活動を展開していきます。コミュニケーション力のある子ども（対話力）、自ら深く考える子ども（思考力）、自ら動く子ども（自主性）、何かを創り出す子ども（創造力）です。

社会の変化のスピードが速く、インターネットで誰でも膨大な情報を手に入れることができる現代においては、豊富な過去の知識も加えて、次々に出現する新しい状況に対応して自ら考え判断し、行動する能力を持つていることが、人間として生き抜くためにも、これからの社会には、必要となります。

本学の百年の歴史と伝統をさらに進化させ、二十一世紀社会に対応できる児童の育成に努め、この記念すべき年から、新たな地平へと進めて参ります。

本年も、どうぞよろしく願います。

### 教えるとは夢を語ること

椋山女学園大学附属小学校  
校長 河野庸介

昨年創立一〇周年を迎えた本校は、今年また新たな気持ちで次の十年に向けてスタートした。これからの十年間に学校教育も様々な改革を求められるに違いない。子供たちの輝かしい未来のために、本校教職員の総力を挙げて改革を進めていきたい。そして、その際には、「人間になろう」という本学園の教育理念をより高く掲げていかななくてはなるまい。最近声高にその必要性を指摘される「小学校での英語の教科化」、「アクティブ・ラーニング」。もちろん大切なことである。しかし、それらの改革を通して求めるものは、やはりより豊かな人間を育てることである。そのような理念を、夢を、子供たちに熱く語り伝えられる学校であり、教職員であることを強く願っている。

### 新年おめでとう ございます

聖ステパノ学園小学校  
校長 小川正夫

戦後という言葉も古めかしく聞かえますが、敗戦後、六十三年前物資の乏しい中、多くの方々のご支援で建てられた木造平屋建ての小学校校舎を昨年から建て替え工事に入りこの春竣工の予定です。

一学年一学級、様々な環境や状況に置かれている子ども達が登校するインクルーシブ教育を実践する学校で、教職員は苦労が多く、大変なことも少なくありませんが子ども達も教職員もみんな明るく伸びやかに、始業時刻前、朝早くから、登校するのを楽しみにしています。

工務店の皆さんが、朝早くから暗くなるまで心を込めて作業して下さい、穴掘りから頑丈な基礎工事、そして手際よい段取りで組み立てられていく構造物を見て、私達は沢山のことを学んでいます。

### 創立一三〇周年 記念事業

捜真小学校  
校長 新藤啓二

新春のお慶びを申し上げます。私立小学校の教育を担う皆様に支えられ、一緒に平和な新年を迎えられますことを心より感謝申し上げます。

捜真学院は今年創立一三〇周年を迎えます。記念の年あたり記念事業として、女学校には食堂棟(カフェテリア)の建設、小学校にはピオトープの設置を計画しております。また、一八八六年横浜山手の外国人遺留地にあつた聖書印刷所で捜真が誕生したことを覚え、記念碑の建立を考えています。

ピオトープは、人工的に再生された自然生態系の観察モデルです。池に水草や水生植物、小さな魚や昆虫などが、一連の生態系を維持していることを学び、そこから自然環境のシステムを理解するための生きた教材となります。子どもたちや保護者と共に作り上げていく予定です。

将来グローバルな視点から地球環境を守ることがますます重要になる時代を生きていく児童にとつて、自然と環境への関心を高める好機となることを願っております。  
 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

**さらなる発展を  
期して**

徳島文理小学校  
校長 長 井 明 福

新春のお慶びを申し上げます。  
 昨年、学校法人村崎学園は創立百二十周年を迎えました。徳島文理小学校も設立以来、この春に三十三周年を迎えることができます。本当に有り難いことと思います。  
 徳島文理小学校では、建学精神「自立協同」をもとに、校訓を「正しく強く 美しく」と定め、知・情・意・体の調和のとれた「国際性豊かな人材」の育成を目指しています。  
 しかしながら、時代は私立小学校には厳しい状況にあると言えます。このような時こそ、私学だからこそ

できることを、強みにしていくことが大切なのではないでしょうか。国においては、新たな教育課程への動きが示されつつあります。それらに注視しながらも、これまで積み重ねてきたものを大切にすることも、目の前の児童を中核に据えて、本校教育のさらなる発展を期していきたく強く思います。

そして、言うまでもなく、児童一人一人は、無限の可能性を秘めています。それぞれの児童がさらに輝きを増し、それぞれの夢や希望を実現していくために、保護者の皆様のご理解とご支援をいただき、さらに努めていきたいと思っております。  
 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

**学びの充実を  
求めて**

菅生学園初等学校  
校長 小 林 なほみ

明けましておめでとうございます。  
 本校は自然豊かな里山に立地しており、この環境を生かして「ゆたか」

の時間では、四季折々の自然の変化や動植物の生息の仕組みを見つめ、探究的な学びを進めてきています。こうした中で過日、ヤゴが羽化する場面にも子供たちは遭遇し、その神秘さに触れ、実体験をもって学びを深めることが出来ました。

また、グローバル化や技術革新の進展を見据えて創設してきた「ひらめき」の時間では、子供たちが楽しく学ぶ中で、論理的思考力や表現力の高揚を図ってきています。  
 本年も、こうした学びの更なる充実を求め、全教職員が一丸となって尽力していきたいと思っております。

**新しい年への抱負**

サレジオ小学校  
校長 北 川 純 二

戦後七十周年の昨年、私たちの願いは平和な社会が一日も早く築かれていくことでした。しかし、世界や日本は一体この先どうなっていくのだろうかと思わされる出来事が引きも切らず、格差社会はますます広

がり続けています。先の見えない社会に多くの人々が不安を抱いています。

大人たちの不安は子どもたちへ敏感に伝わっていきます。そのような子どもたちを預る私たちの学校は何ができるのでしょうか。

この不安定さを増す世界の渦中へ飛び出していく子どもたちが、しっかりとした自分を持ち、変わりゆくものに流されず、変わらないものを求めて成長していくことができるように、私たちはサポートしていかなければなりません。

そのような意識をもって今年も子どもたちの未来のために尽くしていきます。

**さらなる発展を目指  
して「たくましい  
実践力」を育む**

成蹊小学校  
校長 大 場 繁

あけましておめでとうございます  
 成蹊小学校は、今年度創立一〇一年目を迎えます。昨年度「創立一〇〇周年記念公開研究会」を実施した際に

は、私学の関係者にもお出かけを頂  
きました。また、貴重なご意見を頂  
戴きましたことにも感謝いたして  
おります。有難うございました。今  
年度は、お寄せくださったご意見を  
いかして、さらなる発展につなげて  
いく年にしたいと願っています。将  
来、子どもたちがどんな状況下に  
あっても、しなやかに逞しく未来を  
豊かに切り開いていくことができる  
ように、「たくましい実践力」をこ  
つこつと、そして着実に育んでまい  
りたいと考えています。  
今年もよろしくお願い申し上げま  
す。

**新  
年を迎えて**

近畿大学附属小学校  
校長 中川 京 一

新春のお慶びを申し上げます。  
着任後、二度目の新年を迎え、時  
の流れの速さを改めて実感しており  
ます。

昨年夏の夏に、校庭の芝生化を実施  
しました。校庭で遊ぶ元気な声が

今まで以上に大きく聞こえる中で、  
日々子どもたちと楽しく過ごしてお  
ります。

本校の教育目標として掲げており  
ます「自立した学習者の育成」「社  
会に役立つ人材の育成」の実現に向  
け、子どもたちを中心に保護者・教  
職員がひとつになり、子どもたちの  
笑顔があふれる「チーム近小」で取  
り組んでおります。

今年、幼小一貫九年間を見据え  
た教育活動の一層の推進を目指し、  
幼小の更なるチームワーク・チーム  
プレーに邁進したく思っております。  
本年も、どうぞ宜しくご指導ご鞭撻  
を賜りますようお願い申し上げます。

**年  
頭所感**

学習院初等科  
科長 酒井竹雄

新年、明けましておめでとうござ  
います。

本校は、今年で創立一三九年目を迎  
えます。今まで以上に、歴史と伝統に  
育まれた学習院初等科教育の魅力が、

多くの方々に知っていただけるよう  
努めていきたいと考えております。

昨年学習院初等科では、国際化を  
進めることを念頭においた教育活動  
に取り組んできました。英語教育は  
もとより、日本語の理解を深めるた  
めに話し言葉や書き言葉を大切にし  
た授業を行い、また、日本の歴史、  
日本の伝統・文化への理解を深める  
授業も行いました。

今年、ICT教育について、ど  
のように授業に活用していけばよい  
のか、いろいろな角度から研究し、  
実践していきます。  
先生方のご健康とご多幸、各私立  
学校のますますのご発展を心からお  
祈りいたしております。

**初  
志を忘れず  
原点に帰れ**

光塩小学校  
校長 小 环 洋

今年度監事として、東私初協と日  
私小連の理事会に出席し、そこでの  
感想も含めて念頭のご挨拶とします。  
日私小連は東京と関西の理科の先

生の交流から始まりました。自分た  
ちの授業研究を仲間と語り合いた  
い、情報交換をしたい、その情熱が

東海道線の夜行列車での行き来にな  
りました。宿泊を互いの自宅を提供  
することで交流を密にしていたの  
です。この情熱を先輩たち仲間は手  
弁当で行いました。これが日私小連  
の初志であり原点です。初期の先生  
方の訃報を耳にすることが多くなる  
なかで、原点を確認することには意  
味があると思います。

隔世の感がある現在の日私小連を  
見るにつけ、予算が付かなければ動  
けなくなっている研究部会があると  
するならば「初志を忘れず原点に帰  
れ」と言いたいです。

**「教  
育の明星」  
賢さを求めて**

明星小学校  
校長 味形 修

新年あけましておめでとうござい  
ます。

昨年は幼小中高の一貫教育を見直  
し、「教育の明星」を目指して新た

なスタートを切りました。今年も理科教育、英語教育を軸に子どもたちの学力を伸ばすとともに、心身ともに健全な、賢く元気な明星っ子を育てます。

「賢さ」には、知識と経験を踏まえて、自ら試して納得するまで確認し考えつづける意志が必要です。明星学苑の体験教育、実践躬行でこの意志を育みます。

このために教員の授業力をさらに高めていきます。校内研修、教員の自主的積極的な研修を推進し充実させ、創造的で生き生きとした授業を目指していきます。

明星小学校は、教員の資質と教育力の向上を常に求め、保護者と学校の相互理解を深め協働しながら、児童のために教育活動を行っていきます。

**授業力と  
生徒指導力**

安田小学校  
校長 新田 哲之

あけましておめでとうございます。安田小学校は、二〇一六年に創立

一〇一周年目を迎えます。時代は移り変わろうとも建学の精神「柔しく剛く」が、一〇〇年続いてきたことが喜びであり、これからも建学の精神を軸にぶれない教育を行っていきます。そのために、今年子どもに学力と問題解決能力をつけていくことを重点に置いています。問題解決能力とは、人を敬う態度や丁寧的確に話す力、問題対応力、問題回避能力をさし、社会の中で起こる問題を自力で解決し、自己実現を図ろうとする人を目指しています。学力も問題解決能力も教師が教え、指導という名目で注意するだけでは身につけません。教師が授業力と生徒指導力をつけるための研修と授業実践に取り組んでいきます。

**湘南学園小学校  
二〇一六**

湘南学園小学校  
校長 榎本 勝己

神奈川は湘南の一角、藤沢・鶴沼に所在する湘南学園小学校を代表して、新年のご挨拶を申し上げます。

今年、湘南学園小学校は創立八十三周年を迎えます。昨年十一月には、「学び合い、つなげる学び、つながる学びの探究を目指して」をテーマに公開研究会を開催し、予想を超える多くの皆様のご参加を得て、評価と共に忌憚のないご意見、ご批判を今後の教育活動の糧にすることができました。建学の精神に基づき、私たち教員の絶えざる教育研究・実践への意欲を持ち続け、湘南・鶴沼のロケーションを十全に生かした質の高いアフタースクール、認証継続をいただいたエコスクール、INSとのグローバルコラボの実施など「湘南学園小学校らしい」教育づくりに磨きをかけていきます。

**「誰かのための  
自分」を生きる**

東京三育小学校  
校長 平田 理

新春のお慶びを申し上げます。多くの皆様が国内外の諸問題に心を痛めつつも、新たなる決意を抱か

れたことと存知ます。この混沌とした世界にあっても、世の中をより良く、より豊かなものにしていく子どもたちの心を養い、育てたいものです。三育教育の目的は聖書に示されている霊性 (Spiritus) と知性 (Mens) と身体 (Corpus) の調和のとれた人間像の回復にあります。その実現のために、自己と他者の尊厳を重んじ、より良い社会の形成を目指し、具体的に貢献できる人物を育成したいと考えています。

今年も天より与えられた生命を感謝し、互いに愛し合い、互いの必要に応え、世界のどこに行っても平和を創り出し、「誰かのための自分」を生き、懸命に働く人物を送り出します。

**人間教育**

聖ヨゼフ学園小学校  
校長 芝田 伸之

新年おめでとうございます。科学の発展、発達のスピードは、急激に加速しています。科学の進歩は、人の生活を便利にする一方、人

が本来持っている感覚や機能を退化させてしまう可能性をはらんでいきます。益々教育の重要性を感じるとともに、基本的な活動や思考などを学校でも社会でも家庭でも意識して使う必要があると思います。

優れた科学機器に使われるのでなく、自分の判断で使うことが大切です。それには、人間教育が果たす役割が重要です。その使命を胸に進んでいきます。

明るい未来に向かう希望に満ちた子ども達を育てたいと思っています。本年も宜しくお願いします。

**良**  
き生活習慣

千葉日本大学第一小学校  
校長 石井 和生

女性八十六・八歳、男性八十・五歳。これは二〇一四年の日本人の平均寿命です。少子高齢化が進む現在の日本。今の小学生が活躍する三十年後、生き方や価値観などが大きく変わっていることが予想できます。今、人間がやっている仕事のうち、

機械やロボットが担うものが増えていくと思われれます。地球環境も変化していくかもしれません。さらに、定年後も二十年以上生きることになります。このような状況で義務教育が担うことはなんでしょうか。それは、良い習慣を身に着けることではないかと考えます。日本大学第一学園の教育理念として「良き生活習慣を持った次世代人の育成」を掲げています。

今年も「当たり前前」のことが当たり前前に行ける一人づくりに励みたいと思います。

**や**  
さしさあふれる  
子ども

国立学園小学校  
校長 児玉 宏之

ぼくは、今日、バスの中で、車いすのついている人にあいました。ぼくは、車いすの人をはこんであげました。その人は、「ありがとう」といいました。ぼくはうれしいです。

二年生の子どもの日記です。バスの中で車いすの人に出会うのはじめてだったでしょう。何の躊躇もなく車いすの人をはこんでいった二年生は、すごいと感心しました。世の中を見ると、不安なことばかりですが、こんなすてきな小学生がまだまだたくさんいるのです。

やさしさあふれる子どもたちを、たくさん見つけられる一年でありたいと思います。

**授**  
業の充実で  
楽しい学校に

沖縄アミックスインターナショナル小学校  
校長 和宇慶 江理子

新春のお慶びを申し上げます。教育実践に熱心に取り組む教職員と子ども達の笑顔に囲まれ新しい年を迎えられますことに感謝しております。

新年に当たり本学園の教育理念「自分で考え、学び、行動し、自分の将来を自分で切り開く自立した子どもを育てる」のもと、取組の検証を行うと共に、新たな一歩を踏み出

す決意です。

英語で実施されている殆どの授業の更なる充実に加え、学校行事・学年行事を含め、子ども達の活動の場を活発にしてどの子にとっても楽しい学校づくりに励みたいと思います。

今年も子ども達の夢の実現のために、教職員と共に頑張って参ります。今後とも指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

**帰**  
りを楽しむ

七沢希望の丘初等学校  
校長 島根 照夫

子どもの頃学校の帰り道が楽しかった。行きは、登校時刻に縛られる急いで学校に向かうのが普通であるが、帰りは、ぶらぶら歩きを楽しんだものです。思わぬ発見がそこにはありました。季節季節で変わる周りの変化。氷の張った日陰の水たまりは格好の遊び場。石を投げて滑らせたり、いつ割れるかひやひやしなから踏みつけたりもしました。垣根の

隙間からそつとのぞいたとき、犬に吠えられ思わず後ずさりしたことも帰り道の一コマです。

ゆったり時間がながれていたのでしょう。帰ると「どこで道草をしていたの？」と聞かれても説明が難しく「・・・」。

今は、人生の帰り道を楽しんでいます。学校は、一人ひとりの輝いた笑顔が似合う場所。今年も神様に見守られた良い年でありますように。

**平成二十八年**  
**年頭のあいさつ**

さとえ学園小学校  
校長 下平 孝富

みなさま、恙なく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。十二支でいうと今年は「申年」ということになります。「申」という字は、果実が熟して固まっていくという意味があるそうです。また、申年の人は元気で場を盛り上げる人が多いとも聞きます。本校は、開校して今年で十四年目を迎えます。まだまだ、私立小学校の世界では「未熟者」です

が、気持ちだけは「申」の字のごとく「成熟」に向けて、学校はもとより私個人としても元気に精進してまいると思います。今年もご指導をよろしくお願い申し上げます。

**新しい年を迎えて**

岐阜聖徳学園大学附属小学校  
校長 武山 正光

新年あけましておめでとうございませす。昨年の公開研究会では、ご指導・ご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。多様化する社会に対応していくためには、教職員がチームとして協働していける環境が必要であり、その中で、自主的な授業研究などによって教師の資質向上が図られていくと思っております。その意味で、教育実践公開・公開研究会は、実践的指導力や組織で対応する力などを養うのに役だっております。このような取り組みを今後も継続してまいります。

す。本年も従前に変わらぬご指導をお願い申し上げます。

**国語科を超えた  
国語力、言語力の育成**

鎌倉女子大学初等部  
部長 松本 安博

新年明けましておめでとうございませす。今年、「予測困難な複雑で変化の激しい社会」の到来のもと、新しい学習指導要領の骨格が示される年を迎えます。そして、これからの我が国の教育の動向を把握するうえで、もたいへん重要な一年となります。本学初等部におきましても、平成三十二年（二〇二〇年度）の完全実施に向けて、「国語科を超えた国語力、言語力の育成」を柱に、新しい学習指導要領の改訂の趣旨に沿った教育課程の編成に努めていきたいと考えています。本年もよろしくお願い申し上げます。

**これから力**

青山学院初等部  
部長 中村 貞雄

昨年の四月、信州大学の入学式で山沢清人学長が「スマホやめますか、それとも信大生やめますか」と問いかけ話題となりました。山沢学長は「スイッチを切つて本を読み、友達と話し、自分で考える習慣をつけ、物事を根本から考えて全力で行動することが独創性豊かな学生を育てる」としています。もちろんスマホそのものが「悪」であるとは一概には言えません。便利な道具は、使いこなせば良いツールとなります。しかし、子ども達の今しかない生涯一度の小学生時代、これからのグローバル時代を生きていくためには、何を大切にしてどのような力をつけてあげるのか、これは各学校の大きな問題であり課題でもあると思っております。本年もどうかよろしくお願い致します。

### 元 気が出る授業

聖セシリア小学校  
校長 服部 啓明

昨年、劇団をお招きし、全校児童で演劇を鑑賞しました。開演前に団員の方々と短い会話をしたところ、皆さんの声や目や姿には心からの元気があふれていて、接した私も元気になりました。そのことをお話しすると「演劇では、演ずる側は見る人に元気を与え、これを見ている人からまた元気をもらいます」とのこと。教育も然りと思いました。教師は元気を児童に与えられるようでありたい。児童もこれに答えて元気に活動してほしい。教師には子どもたちが様々なことに問題意識を持ち、追究し、理解できるように力を引き出していく役目があります。一コマの授業には、笑いもあれば静かな思考もあります。一つの劇のようです。子どもたちが夢中になって参加し、やがて元気になるような授業が目標です。

### 新 しい教育課程を力強く進める年

和光小学校  
校長 北山 ひと美

二〇一六年度は、十年に一度の教育課程改訂の年です。和光小学校、和光鶴川小学校は、二年をかけて総括と方針作りの議論を進めてきました。昨年十一月には、公開研究会で実践を報告し、今、カリキュラムの自主編成をすることの意味、今の学校教育で課題になることは何かを、全国の先生方から多くのご意見をいただきました。和光小学校では、韓国ソウルの学校、中国杭州市の学校とホームステイをしての三カ国交流を続け、今年は十周年となります。「英語」に特化しない異文化国際理解教育こそ、子どもたちが世界の情勢に目を向け、異文化への関心を高めていくのだと、十年間の取り組みを通じて確信を持っています。新しい教育課程でも、さらなる発展を目指します。

### そ れでも心豊かに生きてほしい

暁学園暁小学校  
校長 水谷 浩三

昨年、文科省中教審の教育課程企画特別部会により論点整理がまとめられ公表されました。二〇三〇年の子ども達を取り巻く近未来の予測が述べられています。決して明るい展望のある希望に満ちた未来予想はされておりません。むしろ数々の厳しい状況が待ち受けていることがデータで示されています。それでも私は子ども達には心豊かに生き合ってほしいと切に願います。これまでの価値観では立ち行かない世の中であっても必ず必要な力、そんな時代だからこそ必要な力は、人と人がつながる力ではないでしょうか。人と建設的に関わる力こそ、大切に大切に子ども達に育んでいかなければならない力です。我々私学人は互恵性をもってつながり合う中で、それぞれの建学の精神に根差した教育を力強く推進していきましょう。

### 一 人一人の輝きと共生

啓明学園初等学校  
校長 操 木 豊

皆様、新年明けましておめでとございます。創立七十六年の年、二〇一六年も啓明学園初等学校では、①キリストの教えに従い、ルールを守る正しい人間を育てる。②誰からも愛され、人を愛せる人間を育てる。③強く、高い感受性を持つ人間力の基礎を形成する。④三万坪の土地と自然が子どもたちと調和する教育を行う。⑤啓明学園幼稚園、初等学校、中学校高等学校の十五年間の一貫教育を通してグローバル・リーダーを育てる。以上の教育方針により、子どもたちの生きる力を培います。そのために、キリスト教の教えに基づく全人教育を進め、「自己肯定」「命への感謝」「真の平和」「共生」を学ぶことで『神を愛し、人を愛す』という大きなテーマに導きます。そして、多くの先輩方が学び、構築された伝統を受け継ぎ、現在の自

分たちがあることへ感謝し、充実した学校生活を送れるようにします。一人一人が自分のよさや可能性を発揮し輝くように、そして、切磋琢磨する中で、相互に認め合い、支え合い、協力し合い、高め合い、未来社会を心豊かにたくましく共に生きる子どもを育てます。

どうぞ宜しくお願いいたします。

**新**校舎での新年、  
**更なる発展を**

沖繩カトリック小学校  
校長 幸 聖二郎

「私たちの学校はお金があるわけではありません。設備が整っているわけでもありません。しかし、私たちに、教育への熱い思いと子ども一人ひとりに対する深い愛情があります。」

これは、今から二十八年前、キングスクールの校舎を譲り受ける形で、本校が開校した時、初代校長の佐々木神父様が、職員によく話しておられた言葉です。昨年二月、五十七年間使われてきた旧校舎

が取り壊され、同じ場所に、念願の新校舎が完成しました。今、子どもたちも私たち教職員も、設備の整った素晴らしい校舎で、充実した毎日を送っています。天国の佐々木神父様もきっと喜ばれておられることでしょう。

これまで本校を創り上げてこられた諸先輩方、祈りで支えてくださっているドミニコ宣教修道女会のシスター方やカトリック那覇教区の信徒の皆さん、本校に関わりのある全ての方々への感謝の気持ちでいっぱい

です。

新校舎での新年を迎えようとしている今、これまで以上に、「教育への熱い思いと子ども一人ひとりに対する深い愛情」を大切に、日々教育活動に励んでいきたいと決意を新たにしています。今後とも、引き続きご支援くださいますようよろしくお願い致します。



**創**立三十周年を  
**迎えて**

聖徳大学附属小学校  
校長 佐藤 幸雄

新しい年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。本校は今年で創立三十周年を迎えます。十一月十六日には創立三十周年記念式典も予定しています。

着任以来、十周年、二十周年と経験しましたが、節目には、常に私学としての建学の理念に気持ちもどる気がいたします。「和」の理念と「礼節・知育・勤労」の教育方針を今年の三十周年でも改めて問い直し、三十年の歴史を刻んだ私立小学校にふさわしい教育活動がはたして行われているのかを改めて問い直していきたいと思えます。質の高い学力形成と和のこころもった人格形成を本物の環境・体験を通して人間教育として実現していくことが、三十年を迎えるわが校の使命であると自覚している新年であります。

皆様のご支援をこれからもよろしくお願いいたします。

**「大**自然に合う  
**教育**

京都・一燈園小学校  
校長 相 大二郎

一燈園の学校はおそらく日本で一番小さな私立学校です。一クラス十人前後で小学校全員でも百人に満たない規模であります。しかし創立者西田天香の特色ある教育価値観によって八十年を超える歴史と「大自然に合う」教育を軸足にして、児童数が少しずつ増えつつあることは有難いことと感謝いたしております。

子供達には三種類の成長分野があるように思います。それは「教わる」分野と「伝わる」分野と「気づく」分野であります。そしてこの三つの分野は人間が「天地大自然」から授けられた「脳」と「体」と「心」の三つに連動します。「大自然に合う」ためにはこの三つを鍛錬刺激する必要があります。それが本校が「学」と「汗」と「祈り」の三つを教育方針の三本柱にしている所以であります。本年もよろしくお願い申し上げます。

### 年 頭 所 感

精華小学校  
校長 大庭 照雄

新年明けましておめでとうござい  
ます。

精華小学校の設置者である学校法人神奈川学園の創立一〇〇周年記念事業として数年来進めてきた施設整備は、今年末に予定されている新講堂棟の竣工で完了となります。

主要な通学路として大半の児童が利用する最寄りのJR横浜駅では、現在大規模な再開発が進行しており、二〇二〇年には地上二十六階建ての仮称「横浜駅西口開発ビル」ができあがる予定です。

一方学校では、この数年の間に教職員の入れ替わりが集中して、若い教員が増えました。

児童は、新しい駅舎から新しい校舎に通い、若々しい先生から指導を受けることになって行く訳ですが、将来へ向けて夢が膨らむと同時に、皆様のご期待に応える責任の重さを感じております。

### 口 ボットには できないこと

小林聖心女子学院小学校  
校長 棚瀬 佐知子

先日とても興味深いデータを目  
しました。「今から十年〜二十年後、

日本の労働人口の約四十九%が就いている職業において、人口知能やロボットが代替可能である」との研究です。そうなる気になるのは、ロボットにできないことは何なのかということなんです。「芸術、歴史学・考古学、哲学・神学など抽象的な概念を整理・創出するための知識が要求される職業、他者との協調や、他者理解、説得、ネゴシエーション、サービスマ志向性が求められる職業」は代替が難しいとのことなんです。

国立教育研究所がまとめる「二十世紀型能力」は、これからの日本人に必要な資質・能力として注目されていますが、肝心なことは、創造性や人間関係形成能力という、何よりも人間らしい能力を育てることであり、それが学校の使命であるということなのではないでしょうか。

### ア クティブラーニ ングの取り組み

帝京大学小学校  
校長 星野 昌治

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

本校の研究主題は「思考力を高め、豊かに表現できる子の育成」くメディアセンターを活用した、アクティブラーニングを取り入れた授業づくりです。この研究テーマを踏まえ、これまで本校教職員と帝京大学教職大学院・帝京大学教育学部と共同研究を進めてまいりました。また、本校では、児童自身が学習に見通しをもつこと、友だちと学び合うこと、学習を振り返ることなどを、どの授業でも大切にしてきました。

今年も、その研究成果である、帝小学びのスタイル「アクティブラーニング」を一層充実してまいります。これからも、「児童と教職員が、日々深化する学校」を目指して、帝京大学小学校の教育目標である「強く、優しく、美しく」、そして「自分流」で培う人間力の育成を目指し

ていく所存です。  
どうぞ、本年もよろしくお願い申し上げます。

### 子 どもの夢を 大切に

昭和学院小学校  
校長 鈴木 祐子

新年おめでとうございます。

新しい年がスタートし、本校の子ども達も自分の夢に向かって前進し始めています。

本校では、「高い学力、やさしい心」の教育目標をもとに、一人ひとりの個性を伸ばし、素直でのびのびとした心を育てることを大切にしています。

今、子どもたちを取り巻く環境はベストではありませんが、子ども達  
が大きな夢を持てるように、そして、その夢に向かって進めるようにして行きたいと思っています。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

### 新年にあたって

淑徳小学校

校長 多田元樹

人工知能の「東口ボ君」が、ある予備校の模試で高成績をあげているニュースに、私学教育の重要性を再確認する思いがしています。

教育は人格の完成を目指し行うものですが、知識の獲得だけで人格が完成されるわけではありません。広く深い知識の上に、人が生きていく上での確固たる判断の基準が備わっていないければなりません。私学の建学の理念と良質の知識の獲得とが教養を育み、人格を陶冶します。教養を持たない人間が人工知能に使われる未来を想像する時、恐怖の念を禁じえません。

「共生」と「感恩奉仕」が本学の建学の理念です。深く幅広い知識の上に建学の理念をしっかりと身につけた者こそが、これからの社会に必要な人材だと信じています。

### 新年をむかえて

武蔵野東小学校

校長 木村修二

明けましておめでとうございませう。

昨年は世界中を見渡しますと、国連の世界気象機関から二〇一五年が観測史上最も気温の高い年になる可能性があると警告する報告書が発表されるほど異常気象が進行したり、フランスのパリで起こった同時多発テロによって多くの尊い人命が失われたりなど、我々の予想を大きく超えるできごとが多くあつた年でした。次の時代を担っていくこともたちは、これから出会ういくつもの困難に立ち向かいながら、地球上のすべての命が住みよい共生世界を築き上げていかなければなりません。物事の善悪を判断でき、周囲への思いやりを持てる人となり、世の中のリーダーとなるべく成長してほしいと願っています。

さて、教育界に目を向けてみますと、平成三十二年度に学習指導要領

が改定となり、グローバル化に対応した教育環境がより推進されます。そのために、小学校における英語教育の拡充および強化が示され、英語の週配当時間が三・四年生が一時間、五・六年生が二時間になります。すでに多くの私立小学校では、それぞれの学校の教育方針に沿って外国語教育が行われており、特色ある教育が実施されています。本校でも創立当初から一年生からの英語教育を実践していますが、のみならず国際人を目指す子どもたちへの充実した指導を展開していきたいと思ひます。

教育は不動のものではありません。創立者の建学の精神を継承し、ゆるぎない根幹を軸に、現代のニーズにも敏感に反応しつつ変えるべきことは積極的に変え、これからの世界に通用することもたちを育てていきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



### たくましく教養豊かな日本の心を育てます

四天王寺学園小学校

校長 前原 聡

新年明けましておめでとうございませう。

ご承知のように、近年大阪の私立小学校を取り巻く環境には誠に厳しいものがありますが、このような時代だからこそ、私立小学校が一つになり、お互いに切磋琢磨しながら、公立小学校にはない私立小学校の魅力、私立小学校のよさを皆様にアピールしていくことが必要だと考えております。

四天王寺学園小学校では、六年間の小学校生活の中でさまざまな経験を積み、日本の心と教養の基礎となる確かな学力をつけ、強い精神力・人を思いやる心を育成しています。自分を信じ、友を信じてお互いの夢と希望を叶えさせるべく、併設の四天王寺学園中学への進学はもとより、子供たちが培った資質・能力を最大限に発揮できるよう、責任ある進路指導に取り組んでおります。本

年もどうぞよろしくお願い申しあげます。  
合掌

**建** 学の理念を  
堅持し、  
新たな飛躍を

智辯学園奈良カレッジ小学部  
校長 藤田良一

新春のお慶びを申し上げます。

今年の干支は丙申であり、丙申の年は、これまでの成果が結果として形をなし始める年だと言われています。

本校は、開校以来、「愛のある教育」を学園教育の原点とし、「誠実・明朗」真心のある明るく元気な子に育つて欲しいとする親の願いを叶える教育を目指すという建学の理念を堅持して教育活動に邁進してまいりました。今年も、十二年一貫教育初の卒業生を送り出す年を迎え、いよいよこれまでの教育の真価が問われる時が来たと言えます。

ぶれない、ゆるがない教育をこれからも続けることによって、未来を切り開く高い叡智と豊かな人間性を備えた人材を育成し、さらなる飛躍を目指してまいります。

**一** 人ひとりの  
心の声を聴く

東洋英和女学院小学部  
部長 山本香織

全学年順番に軽井沢にある寮での夏期学校を行っています。昨年の五年生の夏期学校にOGとして参加してくれた三名の大学生によると、

「今の小学部生、すごくいい子だね。夜もちゃんと寝るし。先生たち、どういう指導してるの？」

そうです。今ほとても素敵な女性となつていますが、十年前の小学部生である彼女たちは、やんちゃで反抗的で、それはもう大変でした。

子どもたちが年々、素直で扱いやすくなつてきているように思いました。ある研修会でも同様なことを学びました。従順であることを喜んでばかりはいられないとも…。

本当の自分を抑え、教師の、親の、理想に沿おうとしているとしたら、その子たちは何を畏れ、何から自分を守っているのでしょうか。

新しい年、一人ひとりの子どもたちの心の声をしっかり聴いていきたい

いと思っております。

**な** おく(誠)  
あかるく(明)  
むつまじく(和)

日出学園小学校  
校長 平山淳子

今年度四月に着任し、笑顔で子ども達に迎えられ、幸福感を味わっています。

「なおく、あかるく、むつまじく」の校訓に基づき、児童の育成に日々あたっています。「なおく」とは、善悪を判断する力を養い、まごころをもって人と接することができることです。人との関わりを大切に

この十一月には、千葉県私学小学校九校の研修会に本校で道徳を中心とする授業を展開し、文科省の教科調査官赤堀博行先生より『これからの道徳教育について』ご講演いただきました。教職員は研修を通しお互いに切磋琢磨しながら児童の人間形成の基礎をしっかりと培っていきたいと思います。

新しい一年をどうぞよろしくお願い

いたします。

**隗** より始めよ

暁星小学校  
校長 佐藤正吉

明けましておめでとございます。

「隗より始めよ」と言う言葉は、ことを始めるにはまず言い出した者からが転じて自分自身が着手せよという意味にも使われます。新しい指導要領の姿が現れる今年も、各校が「私学ならではの教育」を一層大切にしながらはならない年であると思えます。本校は「進んで鍛錬の道を選ぼう」という方針を掲げています。そのためには、まず自分からしなければならぬと厳しく自分自身に言い聞かせなければなりません。そこで、これまでの自分の生活を振り返ってみると、身近な人からいつも言われている言葉に、

「過ぎないこと。続けること。」があります。まさに「言うは易く、行うは難し」の内容ですが、実行することにしてみましょう。厳しい一年に

なりそうな気がします。

**奈良育英学園**  
創立百周年

奈良育英小学校  
校長 東 誠 司

謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年も、どうぞよろしくお願ひ致します。

さて、今年、奈良育英学園は創立百周年を迎えます。まず、創立から現在に至るまで、多くの皆様に、さまざまな形で御協力や御支援を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

今後とも御指導、御鞭撻の程、よろしくお願ひ致します。  
この節目の年を迎えるに際し、学園の教育理念を顕す『育英誓願』の実践に向けて教職員一同、心を新たにしているところであります。なかでも「自主創造」の力を養い、「敬愛」の精神を育むことを教育目標として本校は歩んできました。日々の学校生活のあらゆる場面で、この実践に力を注いでいます。

これからも研鑽を積み重ね「伝統の風を未来へ」へ運んでゆけるよう鋭意、努めてまいります。

**学力を伸ばす**  
ヒミツ

学校法人別府大学明星小学校  
校長 小畑 善実

新年明けましておめでとうござい  
ます。

学力に関する問題は、学校を取り  
巻く大きな問題の一つです。

私は、学力を伸ばすヒミツは、日  
常の授業の中にあると考えます。授  
業では「聴き合う関係をつくること」  
と「課題のレベルを高くすること」  
が大事ではないでしょうか。他者の  
声を聴くことが、学びの出発点であ  
り、学びの跳躍台になると考えてい  
ます。

「わかったこと」を話し合うので  
はなく、聴き合う関係をつくり、夢  
中になって学ぶ・探究する学びが学  
力を伸ばすことに、つながっていく  
と信じています。同時に、学力を伸  
ばす処方せんは、「ない」と思います。

**笑顔の一年に**  
しましょう

洗足学園小学校  
校長 吉田 英也

新年おめでとうございます。本年  
もよろしくお願ひいたします。

ある時の全校朝会で、子どもたち  
に「笑顔」について話しました。子  
どもを二人抱えたお母さんが、必死  
で営業の仕事をします。一軒一軒家  
庭を訪問して商品を販売するのです  
が、全然売れません。そのときに、  
所長から「そんな怖い顔をしていて  
は誰も買わないよ」と言われます。  
その一言をきっかけに、鏡を見て笑  
顔の練習を重ねたところ、営業成績  
が伸びてその営業所でトップになっ  
たという話をもとに、笑顔の大切さ  
や効用を話し、いつも笑顔で生活し  
ようというメッセージを伝えまし  
た。

苦しいことやつらいこと、悲しい  
ことなどの多い世の中ですが、笑顔  
で幸せを呼び込むことができると思  
います。笑顔のあふれる一年であり  
たいと願います。

**未来を切り開く**  
女性を目指して

湘南白百合学園小学校  
校長 澤野 誠

今年、学園創立八十周年を迎える  
本校は、一人一人が明るく毎日を通  
ぐす、女の子が主役の学校です。

開校以来、変わることなく受け継  
がれてきた校訓「従順・勤勉・愛徳」  
は、本校の目指すべき児童像です。

また、「進んで挨拶をする」「整理  
整頓を心掛ける」「自分の責任を果  
たす」など、当たり前のことを当た  
り前にして当然という雰囲気、子  
供たちにあります。

学習においても、「話がよく聞け  
る」「協力ができる」「最後まで丁  
寧に学習できる」といった女子のメ  
リットを、最大限に生かした教育を  
行っています。

のびのびとした生活環境の中、子  
供たちは、神からいただいた才能・  
能力を鍛え、磨き、輝かせていきます。  
私たちは、愛の心を持って世界に  
奉仕できる女性、自分で自分の未来  
を切り開く女性の育成を目指してい

ます。  
子供たち一人一人が真に大切にされる学校であるよう、今年一年も励んでまいります。

### 年 頭 所 感

ノートルダム学院小学校  
校長 行 田 隆 一

新年おめでとうございます。  
今年も東日本大震災発生から五年目という節目の年に当たります。三月十一日までは追悼のイベントやテレビ番組が続くことでしょう。

本校は校内テレビ放送で『朝の祈り』を唱えることから一日が始まります。そして放送の終わりには東日本大震災の被災者の方々のために全校でお祈りを捧げています。被災地に完全復興宣言が出されるその日まで、お祈りは続くでしょう。

毎月十一日は特別な日です。  
二〇〇一年九月十一日、同時テロ多発事件が起きました。数日後、本校は追悼集会をおこない、翌月からは十一日に、イタリア・アッシジの聖

フランシスコの『平和を求める祈り』を全校で唱えて今に至ります。数年後からは、京都聖母学院小学校の全校児童とともに祈りを捧げていきます。  
被災地復興の促進と世界平和への子ども達の祈りが今年こそ届くことを願ってやみません。

### 愛 (I・会い・合い) の教育

立教小学校  
校長 佐々木 正

本年もキリスト教信仰に基づく愛の教育の前進、中でも「聴くことは愛の始め」と考え、子ども、教師、保護者、一人ひとりの声をしっかりと聴き合う学校づくりに努めます。

また、共に学び合う学舎を旨とし、学びの共同体作りに努めるとともに、学びの形態に留意し、ペア、三人一組、四人一組などのグループ学習を積極的に授業に取り入れていきます。

さらに、タブレット端末を効果的に活用するとともに、教科横断的な

テーマ学習の可能性を探り、学びに熱中・没頭する子どもたちの育成を図ります。そのために、校内授業研究を重視し全教員が不断の授業改善に取り組み、真正な学びの楽しさを伝えられる学校、一人ひとりが大事にされる学校を旨とします。

### 本当の自分らしさを

国立音楽大学附属小学校  
校長 若 林 茂 美

あけましておめでとうございます。

三学期、六年生にとっては卒業に向けて残り少ない日々が、大切な一日一日になっていくことでしょう。各学年のまとめの学期でもありません。子供たちは気持ちも新たに、目標に向かって学んでくれることと思

います。  
去年一年間を振り返ってみますと、さまざまな出来事がありました。私が特に印象に残っているのは、十月五日に大村智氏がノーベル賞を受賞したことです。受賞会見をニュースで見たときに、決して偉ぶ

ることはなく、「まわりの人の役に立ちたい」という信念を語る姿と、大村氏の「謙虚な姿勢」に感動を覚ええました。  
子供たちにも、挑戦の中から、本当の自分らしさを見つけ二十一世紀を担う人間に成長していつてほしいと願っています。

### 心を亡ぼさないで

横浜英和小学校  
校長 上 戸 秀 夫

先生の仕事は、本当に忙しいです。いつも師走です。教材研究・テスト作り・採点・児童指導・保護者面接・行事の計画実施・校務分掌の会・研究会・トラブルの処理等々、休む間もなく仕事をしています。教師本来の仕事が十分できないのが現実です。忙しいという字は「心」を「亡ぼす」と書きます。良い教育をするには、それに携わる人が心身ともにゆとりを持ち、健全な状態で取り組まなくては、その成果は期待できません。先生方が余裕を持って教育で

きる環境を創り上げていくことが、今求められていると感じています。今年度は、これを念頭に置き、取り組んでいきます。

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

**新年あけましておめでとうございます**

生光学園小学校  
校長 新居 惠美子

社会の急激なグローバル化や情報化の現状から、英語力の向上や思考力・実践力等の育成は、今後ますます重要になることと痛感します。

本校は、建学の精神の理念のもと、「国際的に活躍できる子ども育成」を目ざし、人格形成はもちろん、約二十年前から英語教育に力を入れ、コミュニケーション力を身に付け、広い視野で物事を考え、日本人としての誇りをもって自主的に行動できる子ども育成に取り組んでいます。英語で学ぶ授業や機会を多くもち、海外姉妹校との交流を行い、多様なプログラムでアクティブに行ってい

ます。

今年もよろしくお願い申しあげます。

**幼児から小学校の接続を考える**

和光鶴川小学校  
校長 園田 洋一

小学校は二〇一八年度の学習指導要領改訂に向けて、大きくその内容が変わろうとしています。また「子ども・子育て新制度」が本格実施に入り、「小一プロブレム」など、幼稚園・保育園から小学校へのスムーズな移行をめざして、幼児教育もその姿を変えようとしています。私は、同じ学園の幼稚園園長と小学校校長を兼ねていますが、幼稚園で安心できる大人たちに見守られながら、様々な体験と豊かな活動を通して、自信と誇りを胸に元気に入学してくる子どもたちにとって、小学校がその流れの中で、毎日が楽しく、そして学ぶ喜びにあふれ、さらに自分と仲間たちを肯定的にとらえられる場所にしたいと願い、一月三十日に幼・

小合同の公開研究会を開催します。ぜひご参加ください。

**不易と流行の間で**

奈良学園小学校  
校長 古川 謙二

グローバル化、ICT教育、アクティブラーニング等々、次々に新しい教育課題が押し寄せてくる。一方で、子どもたちの心と身体の発達バランスが心配である。保護者の方の期待と要望は高まり、それを受ける教員の日常になかなか余裕は見出せず、疲れを見せる彼らに微笑みを絶やさず接するように努めている。

子どもの頃、欲張り者は損をする と親から教えられた。「何もかも」と欲張るのではなく、謙虚に「できることから一つずつ」であろう。また、看板にだまされず、中身をよく吟味すれば、今までやって来たことが無駄ではないと分かるはずである。積み上げてきたものを大事にしな がら、今の子どもたちをしつかり見つめ、良いことと良くないことの

違いをきちんと伝えていきたい。

**支え合いで学ぶこと**

白百合学園小学校  
校長 斉藤 えい

本年も神様のお恵みと希望に満たよい年でありませうお祈り申し上げます。児童は学校生活という社会の中で互いに支え合い、多くの経験を通して成長していきます。昨年の運動会で各自の責任を果たした五年生は見事な組体操の演技を披露し、大きな感動を覚えました。その時の感想を記します。「土台だった練習の時から踏ん張り続け、最大限の力で支えたので今までにない達成感を味わえた。」「多くの友を信頼できた喜びを忘れずに信じていることを大切にしたい。」「一人ではできない組体操は信じあえる人が協力して完成する演技だ。」「脇役がいるから組体操が成り立つ。一人一人が必要とされているのだ。」「全員で取り組んだ組体操を通して内面的に大きく成長した児童の姿がありました。」

今年も様々な経験を通して大きく成長する児童の姿を楽しみにしていきます。

**な**  
ぎさスタイル  
の深化

鶴学園なぎさ公園小学校  
校長 渡邊 あけみ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本校は、開校十三年目の昨年、十二年間の学びを経て、一期生が広島なぎさ高等学校を巣立ち、上級学校に進学しました。四つの教育目標である「高学力」「国際性」「創造力」「人間力」を身につけ、それぞれの可能性に挑戦する卒業生の姿に大いに勇気づけられました。今、あらためて開校時の想いがこめられた「なぎさスタイル」に基づく教育の確かさを胸に刻んでいます。今後の教育改革の先を見据え、本校教育の特色である五感を養う、本物に触れる、季節感を味わい、文化を育む「なぎさスタイル」をさらに深化させ、子どもたちの成長に寄与してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

**感謝**  
する一年を

金剛学園小学校  
校長 成 始 烈

新年明けましておめでとうございませう。今年もよろしく申し上げます。

昨年は、毎日のようにテレビから子どもに関するいじめや虐待、難民など暗いニュースが流れていました。本来、大人達に守られて安心して教育を受けるべき子どもたちが、生命の危機と背中合わせに逃げまどう姿にとても胸が締め付けられました。今年、生きることが当たり前だと思っている子どもたちが、お互いに支え合って生きていられることを理解し、感謝する心を持つことを目標に全教職員と力を合わせて取り組んでいきたいと思えます。本校は、今年五月に創立七十周年を迎えます。また、新しい気持ちでいろいろなことにチャレンジして実

のある一年になるよう努力していきたいと思えます。平和な一年になることを願います。

**新**  
年を迎えて

水戸英宏小学校  
校長 田 中 久美子

謹んで新春のご挨拶を申しあげます。

本校は二〇一二年四月に開校し、日本私立小学校連合会には昨年四月より加盟させていただきました。連合会の一員として、日本の初等教育の新たな創造を共にめざしてまいります。今後ともよろしく願い申し上げます。私どもの学校のある茨城県水戸市は徳川御三家の一つである水戸藩があったことで知られており、伝統的に学問の盛んな土地といえます。本校を統括する学校法人緑丘学園には水戸英宏愛宕幼稚園・水戸英宏平須幼稚園・水戸英宏中学校があり、幼小中一貫連携教育を推進しています。本校の教育理念「知の創造者た

れ」の精神のもと、グローバル化の進む時代の中で活躍するリーダーの育成をめざして、これからも充実した教育活動を展開していきたいと思えます。

**新**  
年を迎えて

横浜三育小学校  
校長 落 合 均

新年あけましておめでとうございませう。今年もよろしく願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、さまざまな出来事があった一年でした。人と人、国と国がお互いに自己中心的になり、奪い合い、傷つけ合い、殺し合う、そのようなニュースを耳にしました。しかしわたしたちは、お互いが愛し合う、平和で、明るい希望の持てる社会になってほしいと願います。本校は、キリスト教教育を土台として、神と人に仕える児童を育成することを教育理念に掲げています。「人にしてもらいたいと思うこと

はなんでも、あなたがたも人になささい。」という聖書の言葉をスクー  
ル motto としています。今年も、  
まず、他者の必要を考慮することので  
きる児童の育成に励んでいきたいと  
思います。

**「時雨之化」を  
目指し**

暁星国際小学校  
校長 田川 茂

新年あけましておめでとうござい  
ます。学校教育を取り巻く環境は目  
まぐるしく大きな変化を遂げている  
昨今、我々私学に課せられている課  
題は、山ほどあると感じています。  
「時雨之化」(ちようどよい時に降  
る雨は草木がほどよく雨の恵みを受  
け育つ) どんな時代にも教師の「時  
雨之化」がなければ学校教育は成立  
し得ないと言えるでしょう。  
私学だからこそ出来る教育。私学  
だからこそ求められている教育を目  
指し、一人一人の児童を大切に育み、  
大きな幹に成長させ、「世の光」と  
なれるような人物の育成を目指し、

本年も全力で取り組んで行く所存で  
ございます。

**愛と平和を**

城星学園小学校  
校長 滝口 ひとみ

新年おめでとうございます。  
昨年の四月より大阪に移動になり  
ました。文化や言葉などの違いもあり、戸惑うこともありましたが、建  
学の精神と創立者ドンボスコの教育  
法の根幹アッシステンツァ「いつも  
子どもとともに」、そして教育にか  
ける情熱は、サレジアン<sup>の</sup>の学校とし  
て変わることがないもの、子ども達  
の成長に欠かすことのできないもの  
だと実感しております。  
昨年十二月八日より「いつくしみ  
の特別聖年」の扉が開かれました。  
聖書のよい羊飼いは、最高のいつく  
しみをもってゆだねられた羊の世話  
をします。これは、創立者の心です。  
特別聖年にあたり、愛と平和に満ち  
た世界の実現のために神様の置いて  
くださったその場所で、ゆだねられ

た使命を果たしていきたいと思っ  
ております。  
本年もよろしくお願いいたしま  
す。

**決意新たに、春。**

学校法人カトリック学園海星小学校  
校長 崎山 麻希

南の島より 謹んで新年のお慶び  
を申し上げます。  
植物界には「極相林」と呼ばれる  
森林があります。気候や土壌等、自  
然環境の影響を受けた植物群の遷移  
の中で「最終段階で見られる平衡状  
態にある森林」のことをいいます。  
私たちが教育活動を営む石垣島では  
真つ直ぐに天を突く杉や檜といった  
いわゆる良材は育ちませんが、ベテ  
ランの職人さんが鉋をかけるとピ  
ロードのような複雑な木目が美しい  
テリハボクや、くつきりとした木目  
のコントラストが見事な琉球松な  
ど、亜熱帯の強烈な風雨に負けない  
粘りのある樹木が育っています。こ  
こ海星小学校でも、その時・その場

所で粘り強く生きる逞しい人材を育  
ていきたいと決意を新たにする春  
です。

**年頭所感**

浦和ルーテル学院小学校  
校長 福島 宏政

謹んで新年のお慶びを申し上げます。  
す。昨年は当学院にとって浦和美園  
への新築移転という大事業を達成し  
た「移転元年」の年でした。これも  
皆様の励ましの賜物と感謝申し上げ  
ます。今年には新校舎にふさわしい新  
しい教育を創出する「創造元年」に  
していきます。従来からのきめ細か  
い十二年一貫教育や国際教育を総合  
し、ギフト&ミッション・システム  
としてグレードアップしました。海  
外系列校との交換留学などのグロー  
バルプログラム、ICTを駆使して  
現実の課題解決にコミットするアク  
ティブラーニングを始動します。そ  
して目指すは神様から与えられた才  
能(ギフト)を磨き、人のために用  
いるという使命(ミッション)を世

界のどこでも果たせる人間の育成です。神さまの導きの下で力強い一歩を踏み出していきます。

### より良い授業を 目指して

雲雀丘学園小学校  
校長 石田 成光

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

他校の校長先生に、研究紀要『雲雀丘教育』を褒めていただくことがあります。A5版という小さなサイズで、二〇〇ページを超える分厚い冊子は、その外見だけでも印象的なかもしれません。

研究紀要の冒頭を飾るカラーのグラビアページでは、活き活きと活動する児童の様子を紹介しています。紀要の中心は、年に数回全教員の参加で行われる研究授業の記録ですが、各教科担当の教員が中心で行う研究授業や授業実践の記録も掲載されています。つまり、全教員の手で執筆された研究紀要になっています。

今年も、『雲雀丘教育』第三十八号を発行しますが、研究テーマ、「自ら考える力を育てる」―質の高い考えを引き出す授業―に沿って、よりよい授業づくりを目指した研究と実践に励みます。

### 「創立六十周年」 を迎えるにあたって

学校法人高知学園高知小学校  
校長 橋本 正博

新年明けましておめでとうございます。

平成二十八年度、学校創立六十周年を迎えるにあたり、建学の精神である「まごころこめて生きぬくたしかな人間づくり」への取り組みを検証し、新たな第一歩を踏み出さねばと思っております。高知学園全体のシンボルである「世界の鐘」。「この鐘の音のとどろくところ 永遠の真理と希望に輝き 世界の平和と友愛に満つ」と謳われている「鐘の銘」の持つ意味を深く考え日々の実践を見直し、さらなる発展を目指した取り組みをすすめていく所存です。

小学校創設以来継続発展させてきた科学教育・英語教育を充実させるとともに、総合学園としての位置づけのなかですすめている幼・小・中高連携教育の充実・発展を図ってきたいと考えています。今後益々進んでいく、少子化のなかで、魅力ある学校づくりをすすめていくことも大きな課題です。子どもたちの夢と希望を叶え保護者の信頼を得る学校をめざして、一時間一時間の授業を大切にしながら、子どもたちとともに歩む安全で楽しい学校づくりに邁進せねばと決意も新たにしています。

### 心を一つにした 学校作り

晃華学園小学校  
校長 田島 亮一

新しい年を主にあって迎えられた喜び、皆様に感謝申し上げます。この間、多くの方々にご指導ご助言をいただき、何とかここまで乗り切ることができました。この間大切にしてきたことは、心を一つにした学校

作りです。特に、学校運営に自ら参画しようとする意識を大切にして、全教職員で教育活動にあたることです。教職員が一丸となることは、簡単なことではありません。しかし、この私立学校が厳しい時代にあつて、一番求められる内容だと思えます。

新しい年を迎え、この「学校のために一つになる」という言葉を合言葉に、今年も全教職員でスクラムを組んで学校運営にあたるつもりです。それが、底力のある学校作りの土台になるものと信じて参りますので、本年も、皆様には、さらなるご指導ご鞭撻のほど、よろしく申し上げます。

### 今までも、これからも大事にして いきたいこと

愛育養護学校  
教諭 高石 史子

子ども自身がどのように一日を過ごすかを考え、時には軽やかに、時には試行錯誤しながら一日を自分でつくっていくこと。過ごした一日を

その子なりに受けとめ、積み重ねていくこと。安心して本来の自分らしさを発揮しながら心が動く「今、やりたいこと」を納得がいくまでやりきること。そのような日々の積み重ねが子どもの生活においてなによりも大事なことはないかと思いません。子ども達がたつぷりと時間をかけて自分自身を育んでいく過程を共にできる幸せを日々感じていきます。いつも子どもの傍で見守り、一緒に考え、手伝い、大人も共に育っていくこの日常の学校生活を今までと同様にこれからも大事にしていきたいと思えます。

**今**  
**わが校の**  
**なすべきこと**

近江兄弟社小学校  
校長 清田 剛

多額の費用をかけて浅小井校地に移転して二年目。来年度入試のA日程も相変わらずの厳しい状況にある。けれども、ようやく滋賀県で唯一の私立小学校の存在意義とは何なのか。

県民に支持され、本校を卒業していった多くの児童が母校に誇りをもてるような将来構想は何なのか。それを具体化しようとする気運が生まれてきた。

これまで小学校教育の四本柱として宗教教育、体験学習の推進、国際人教育、基礎学力の充実を掲げてきた。これらがわが校の特色であるが、それだけでは県民に支持されない。ようやく始まったいわゆる「グラウンドデザイン」の論議を可能な限り早い時期に結論づける必要にせまられている。

**一**  
**人一人の**  
**幸福を願って**

関西創価小学校  
校長 松井 義明

本校は、小中高の一貫教育を推進しており、卒業生は、毎年一月三日に、同窓の集いを行っております。懐かしい顔や成長した顔に会うことができ、年の初めの楽しい有意義な一日となっています。学校はある意味「ふるさと」としての役割を持ち、

懐かしい学舎は、「あの日あの時の自分を確かめる場所」となっています。「一貫教育は、教育にとつて非常に重いものです。教員には子どもたちの人生に責任を持つという覚悟が必要です」と言われた方もいます。「子どもの幸福」のため、「教育のための社会」の実現のために、子どもたち一人一人の可能性を信じぬき、今年も、笑顔の励ましを送り続けていきたいと思えます。

**新**  
**しい年を迎えて**

相模女子大学小学部  
校長 真辺 英二

本校のスクールコンセプトは「毎日会いたい友だちがいる・毎日受けたい授業がある」です。子どもたちが、学校に行きたい！と前向きな気持ちのもてる学校でありたいと願っています。簡単ではありません。成長するためには、必ず苦しい場面や失敗があります。その困難さにくじけることなく立ち向かい、未来への希望を描ける子どもたちを一人で

も多く育てたいと考えます。

今年、本校では、新たな特別教室棟の建築やオーストラリアの小学校でホームステイが始まります。また、学校で飼育している山羊の「パニラ」に、この春赤ちゃんが産まれる予定です。新しい命の誕生を子どもたちと心待ちにしながら、本年も力強く歩みを進めていきたいと思えます。

**新**  
**聞作りを通じた**  
**被災者との交流**

関東学院六浦小学校  
校長 石塚 武志

昨年八月、私が代表を務める神奈川県記者講習会は、第四十九回大会を石巻市と東松島市で開催しました。被災地での二回目です。今回は、両市内の小学生四名と中学生一名を含めた九十一名が記者が「被災地の今とこれから」を取材し、新聞作りに打ち込みました。取材先は、JR陸前小野駅前「空の駅」・仮設住宅「おのくん」、東松島市立浜市小学校、東松島市矢本運動公園仮設

住宅、石巻日日新聞社、石巻ニュー  
 ゼ、日本製紙石巻工場、「がんばろ  
 う！石巻」看板製作者、海苔工場と  
 カキの養殖（万石浦）、洞源院での  
 避難生活経験者、石巻ひがし保育園。  
 特に、矢本仮設住宅で、まめ記者ラ  
 イブを披露し、「まめ記者の詩」と「花  
 は咲く」を聞いていただきました。  
 五年目。復興はこれからです。

**三十周年を  
 目指して**

シユタイナー学園初等部  
 校長 木村 義人

シユタイナー学校は一九一九年に  
 ドイツで初めての学校がスタートし  
 て以来、ヨーロッパ各地、北・南米  
 アフリカとその数を増やし、世界中  
 で一〇〇校を越しているといわれ  
 ています。現在は中国、台湾、韓国、  
 インド、タイ、ヴェトナム、インド  
 ネシアなど、アジアの中においても  
 のすごい勢いでその数が増えています。  
 昨年（二〇一五年春）にはアジア・  
 シユタイナー学校教師会議がここ日  
 本の我が校で開催され、四五〇名程

のアジアだけのシユタイナー学校の  
 教師たちが集いました。実は、アジ  
 アにおける初めてのシユタイナー学  
 校は一九八七年にその前身が作られ  
 た我が校になります。日本の教育界  
 における皆さまの長い学校の歩みと  
 比較すれば後進の我が校ですが、今年  
 の一年の歳月を積み重ねたならば、  
 来年にはやっと三十周年を迎えま  
 す。皆さまのご指導、ご助力をいた  
 だきつつ、更なる歩みを未来に向け  
 て進めていく所存です。

**どのような状況や  
 環境であっても**

聖学院小学校  
 校長 村山 順吉

明けまして おめでとーございま  
 す。  
 聖学院小学校では新年を迎える  
 同時に、昨年初めに完成した校舎で  
 の、二年目の営みが始まります。私  
 たちは校舎が新しくなったこの機会  
 に、これまでの営み全般を振り返り、  
 新しい時代に相応しい、そして何よ  
 りも子どもたちを大切にしている学校で

あり続けるために、工夫と改革を重  
 ねてまいりました。今年はそれを、  
 さらに具体化する時と考えておりま  
 す。また短期的な視野と長期的な展  
 望のどちらにも心を配り、今後どの  
 ように社会の状況や環境が揺れたと  
 しても、社会に貢献しながら自分の  
 人生をしつかり生き抜いていける子  
 どもたちを育て、彼らの心よりど  
 ころとしてその歩みを支え続けられ  
 る学校を目指し邁進する所存です。  
 本年も、どうぞ宜しくお願い申し  
 上げます。

**愛情と信頼感  
 あふれる学校**

宝仙学園小学校  
 校長 和智 紀朗

これは私が校長として着任以来掲  
 げている、理想の学校像である。  
 「愛情」や「信頼感」がただある  
 だけではなく、それが溢れる学校で  
 ある。これを実現させるためには、  
 何よりも教師の在り方にかかっている。  
 教師は、常に豊かな人間性と高  
 い専門性を身につけるために学び続

ける必要がある。児童や保護者は、  
 教師の豊かな人間性から愛情を感  
 じ、高い専門性に信頼を寄せるから  
 である。

そして、本校の目指す児童像は、  
 キヤッチフレーズとして掲げている  
 「高い学力と豊かな情操」を備えた  
 子どもである。教師の高い専門性が  
 児童に「高い学力」を身につけさせ、  
 豊かな人間性が「豊かな情操」を養  
 うのである。

こうした考えのもとに、教職員が  
 一丸となり「宝仙のチーム力」を高  
 めつつ、児童の教育にあたってきた。  
 今年も理想像を求め、邁進してい  
 く。

**年  
 頭所感**

立教女学院小学校  
 校長 佐野 新生

明けましておめでとーございま  
 す。  
 国内外での様々な混沌の中、今年  
 も悩み多き年になりそうだと感じて  
 います。厳しい状況の中でも知恵を

絞り周囲と力を合わせてよい状況を  
実現していく、そのような子どもた  
ちに育つていって欲しいと願うばか  
りです。

ご存知の方も多いことと思います  
が、NHKの「プロフェッショナル」  
で、カツオ一本釣漁船として水揚高  
日本一の漁労長（船頭）である明  
神学武氏が、プロフェッショナルと  
は「その仕事が好きで好きで仕方  
ない人のこと、中途半端に好きな人  
はプロフェッショナルと思えない。」  
と答えておられました。反省しきり  
であります。

本年もどうぞよろしくお願いいた  
します。

**派遣**

カリタス小学校  
校長 萩原 千加子

カトリック校にとって「派遣」と  
は特別な言葉です。教会には、神が  
ミッションを託し、派遣するという  
考え方があり、私自身も神からカリ  
タス小学校に派遣されている、と受

けとめています。

聖書にもイエスが弟子を派遣する  
場面が出てきますが、面白いことに  
イエスは実力ある人を派遣していま  
せん。力なく、心弱く、到底そのミッ  
ションを果たせるとは思えないよう  
な人を、わざわざ選び、派遣してい  
ます。普通の社会ではありえないこ  
ともかもしれませんが、聖書では度々  
出てくる場面であり、カトリック校  
でも私を含め、よくある話です。

しかし、そこに必ず神の恵みが働  
くことは確かなのです。「力のある  
なしに関わらず、あなたは大事な存  
在だ、と呼びかけ派遣する」との神  
からのメッセージ。私はこれを携え、  
子どもと向き合い、今年も派遣され  
た場所で頑張ります。

**むごい教育**

東京都市大学付属小学校  
校長 重永 睦夫

明けておめでとうございま  
す。

昨年は、十二月に長崎で開かれた

全国幹部研修会で浦川末子先生（長  
崎女子短大校長）にご紹介してい  
ただいた戦国大名今川義元の「むご  
い教育」が最後に印象に残った年と  
なりました。ご存じの方も多いエビ  
ソードなのでしょうが、私は恥ずか  
しながら初耳でした。年頭の戒めと  
して書き留めておこうと思います。

徳川家康が松平竹千代といった少  
年時代、八歳にして今川義元に人質  
としてとられますが、今川義元は家  
臣に「竹千代にはむごい教育をせよ」と命じます。家臣は粗食を与え厳し  
い労働などを課しました。それを聞  
いた今川義元は、ばかもの！美食を  
させ、寝たいだけ寝させろ、嫌だと  
いうことはさせず、願いは何でも叶  
えてやれというようなことを言いま  
す。怪訝（げげん）に思った家臣に  
義元が言った一言。「そうすれば大  
概の人間は駄目になる。」

長崎から帰校後、全校朝会で紹介  
しました。君たちの願いをどんなこ  
とでも叶えてくれる人は君たちを駄  
目人間にしようとしていると思いな  
さい。時に厳しい人が君たちを立派  
な人物に育ててくださる方です。  
今年もよろしくお願い申し上げます。

**新しい年を迎えて**

川村小学校  
校長 川村 正澄

平成二十八年になりました。

平穏な日々を積み重ねての一年  
が、とても速く感じられます。そし  
てまた、変わらない日々でありなが  
ら、振り返れば大きい小さい、また  
良し悪しの差こそあれ、たくさんの  
足跡が整然とあるいは雑然と残され  
ております。

昨年、ある時期「子ども達のお小遣い」について考えさせられる問題  
が三年生と六年生の子どもの達の中で  
起こりました。それは、あまりにも  
自分でお金を扱う経験がなかったた  
めに発生したものでした。そこで、  
お金の大切さを知ってもらうために  
も、低学年から実際に自分のお小遣  
いというものを持つ方が良いとしま  
じみ感じました。自由に使える楽し  
さとともに、使えばなくなる喪失感。  
借りたら返さなければならず、その  
ため次のお小遣いがなくなったり少  
なくなったりしてしまう淋しさ。貸

してあげた時、返ってこないこともある理不尽さ。お小遣いでは買えない物もあり、その時は考えたり我慢したりが必要になることなどを、少ない金額で済むうちに十分学習し、身につけて行くことです。六年生では、金額増加(万単位)バージョンが起きていました。

お小遣いを渡し、お小遣い帳をつけながら、親子でお金の収支を確認し、いずれ子ども達に任せる時が来ることを信じていものです。

新しい年、お年玉をあげる、貰うこの時期、今年はこんな身近なことが課題となっています。

**新しい年への抱負**

小野学園小学校  
校長 小野 時英

先日、二〇一五年の流行語大賞が発表になりました。その年間大賞の一つに「トリプルスリー」が選ばれました。これはプロ野球において、バッターが打率三割以上・ホームラン三十本以上・盗塁三十回以上の記

録を残す偉業を称えられる時に使われる言葉です。

本校では、創立以来「頭と心と体のバランスの良い教育が人を創る」という教育方針を貫いてきましたので、三つのバランスという点で重なりを感じました。

二〇一一年の東日本大震災から五年が経とうとし、昨年も九月関東・東北豪雨など避難をしなければならぬほどの天災がありました。本年も、どのような環境の変化にも対応できる適応性のある人間を育てる教育を行っていく所存であります。皆様、よろしくお願いいたします。

**よくきく**

自由学園初等部  
部長 佐藤 有子

新年あけましておめでとうございます。

子どもの伸びていく姿をみることは、私たち大人にとって大きな希望です。二〇一六年も子どもたちの幸せ・成長を支えていく教師、学校で

ありたいと願います。

自由学園初等部では、新年に全校がお書き初めを書いています。「パツトおき」「なかよくする」「集中する」「人のために働く」など、お書き初めの言葉は一人ひとりが自分で考えたこの一年の抱負です。子どもたちがどんなお書き初めを書いてくるのか楽しみです。ちなみに私自身の抱負は「よくきく」です。まず、子どもたちの話をよく聞きたいと思えます。今年もよろしくお願いいたします。

**一〇〇周年の先を**

成城学園初等学校  
校長 加藤 陸雄

新年明けましておめでとうございます。

昨年は大変お世話になり感謝申し上げます。成城学園は、来年(二〇一七年)創立一〇〇周年を迎えます。澤柳政太郎が「私は役人もやった。文部省で新しい教育の制度も作った。中学、高校、大学の長もやった。

だが、大切なのは小学校だ。小学校こそ、本当の人間の教育のできるところだ。私は小学校を作るまでは死ねない！」と熱く語ったその想いを受け継ぎ、建学の精神『所求第一義』のもと、ホンモノの教育を求めて日夜研鑽して参りました。

一〇〇周年をゴールとせず、新たな一歩を踏み出していくため全教職員が心を一つにしてこれからも頑張っていけます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

**未来に通じる学び**

はつしば学園小学校  
校長 小山 久子

本校創設以来の願いは、子どもの「個性を大切に」ということです。学習の中で、しっかりとこのことを意識して取組んでいます。子どもそれぞれ個性が生きているということは、互いに他者の個性を大切にしようということです。どのように社会が変化しても変わらないこと、変え

てはならないこと、それは、人と人との「つながり」。これからの学びは、主体的にしかも他者を意識し認め合いながら自らをより高いものにしていくという「アクティブラーニング」です。それは、国際化する社会を生き抜く人に相応しい豊かな生き方を形成する根っこです。

### 今年もポスムス

精道三川台小学校  
校長 坂井 睦

日私小連の皆さま、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年末の幹部研修会では大勢の皆様にも長崎にお越しいただきました。研修会運営中に、多くの先生方から温かい労いの言葉を頂き、大いに励まされました。本当にありがとうございます。

さて、年は明けましたが、私学教育をとりまく様々な問題は、相変わらず眼前にあり、克服することは容易ではありませんが、諸先輩方の労苦と功績を想い、気持ちを新たにしたいと思えます。

たいと思えます。

本校のモットーの一つは POSSUMS (ポスムスIIできます) という聖書に因んだ言葉です。自分の弱さを弁えるからこそ、神の助けを願ひ、正しいことを行う心構えを表明します。ポスムスは一人称複数形です。一人では難しくても、仲間とともに、子どもたちとともに祈りながら「できます」とこたえていく。そうした一年にしたいと思えます。

### 年頭所感

恵明学園小学校  
校長 二宮 正隆

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

恵明学園は、皆様ご存知のとおり箱根山中にあり、毎年、箱根大学駅伝で新年を迎えます。毎年多くの方が学園に來られ、園児や職員達と共に、厳寒の中焚火で暖を取りながら熱い声援を送ります。

親や家庭に恵まれない幼児から高校までの子ども達が、生活し学んで

います。日々、園長をはじめ指導員、保育士、教員等が日夜一生懸命に育て、家庭に戻したり高校を卒業させ社会に送り出したりしています。今年も、卒園する子がいますが、いつも、子らに恵まれ、明るくあれと願っています。

### 自ら拓く力

文教大学付属小学校  
校長 島野 歩

本年度二十七年度から、本校ではオーストラリアの短期留学をスタートさせました。前半は、留学生となる子どもたち全員でファームに滞在。羊や馬のお世話をしながら、異文化を体感します。後半は二人一組で、一般家庭にステイし昼間は現地のオーストラリアの子供たちと共に授業を受けます。

この留学の間に子どもたちが大きくつけてきた力、それは「自ら拓く力」でした。話されている言葉がわからないばかりか、自分の伝えたいことも表現できない。コミュニケー

ションがとれない辛さ。厳しき。寂しき。おそらく子どもたちにとって、かつて経験したこともない苦難だったにちがひありません。その証拠にホームステイ一日目から迎えた朝の子どもたちの落ち込みようといった、ひどいものでした。ところが、三日目を過ぎた頃から、子どもたちの表情が俄然変わってきたのです。「少しずつだけ話していることがわかってきた！」

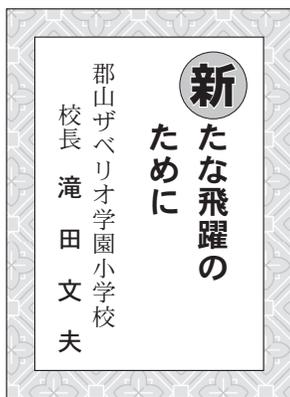
「みんな優しい」・・・まさに一つの壁をのりこえた瞬間でした。そして、そのステップに導いてくれたものは、国境を越えた人の温かさです。「自ら拓く力」の支えは、「人に有り」。人と人との紡ぎだす力を信じて今後も邁進してまいります。

### 落ちこぼれ

光華小学校  
校長 楠木 良夫

新年を迎えるに当たり思うことは、やはり教師の育成である。人材育成は緊急の課題だ。とにかく人事

血気盛んな中学生を相手に、公立  
 中学校で三十六年間勤務し、今年度  
 から本学園で小・中学校長を兼務し



異動がないから、マンネリに陥りやすい。たぶん、書いている自分も長くなればなるほどマンネリに陥ることは容易に想像できる。マンネリに陥らないためには適度な、いやかなりの刺激が必要だ。では、その刺激とは何か。つらつら考えると①研究校に行かせ斬新な授業を見させる。②新しい情報を常に与える。この二点ではないか。

今年も授業研究を徹底してやりた。私学の重要なことの一つに「募集活動」があるが、それと同等、いやそれ以上に重要と捉えて。

今年、茨木のり子の詩集「落ちこぼれ」をいつも手元に置いて直ぐに読めるようにしようと考えている。

今年も日私小連会報新年号「新しい年への抱負」のご寄稿をお願いしましたところ、一〇〇名を超える先生方から、教育に対する熱い思いを綴った原稿をいただきました。感謝申し上げます。

編集後記



ています。小学校だけに時間を注ぐことができませんが、小学校長として日々の授業や学校行事等で子どもたちと接する中で、新たな学びがたくさんありました。また、子どもたちの純真さと高い能力に感動するとともに、労を惜しまず情熱を注ぎながら細やかな心で丁寧な指導する先生方の姿に頭の下がるばかりです。

現在、次年度に向け、小中の先生方と話し合いを重ねながら小中一貫校としての特色を一層色濃くするための教育課程作りに励んでいるところです。「新たな飛躍」を期して学校作りに取り組んで参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

平成 28 年度 日私小連研修会日程表 (平成 27 年 11 月 30 日現在)

研修会	実施回数	集録番号	期 日	場 所
西日本地区	58	393	平成 28 年 5 月 27 日 (金)	奈良学園小学校 (奈良県)
東京地区	53	394	平成 28 年 6 月 3 日 (金)	目黒星美学園小学校 (東京都)
全国教頭	40	395	平成 28 年 8 月 7 日・8 日 (日・月)	ホテル河鹿荘 (神奈川県)
全国夏季	60	396	平成 28 年 8 月 8 日～10 日 (月～水)	新横浜プリンスホテル、他 (神奈川県)
北海道・東北地区	45	397	平成 28 年 10 月 14 日 (金)	桜の聖母学院小学校 (福島県)
九州地区	41	398	平成 28 年 10 月 14 日・15 日 (金・土)	明星小学校 (大分県)
関東地区	58	399	平成 28 年 11 月 12 日 (土)	森村学園初等部 (神奈川県)
全国幹部	61	400	平成 28 年 12 月 1 日～3 日 (木～土)	ホテルモンテレ仙台 (宮城県)

日本私学教育研究所と共催の初任者等研修会

研 修 会	期 日	場 所
初任者研修地区研修会		
小学校 (東日本地区)	平成 28 年 7 月 27 日～29 日 (水～金)	クロス・ウェーブ船橋 (東京都)
小学校 (西日本地区)	平成 28 年 7 月 27 日～29 日 (水～金)	大阪ガーデンパレス (大阪府)
初任者研修全国研修会		
小中高校 (東日本)	平成 28 年 月 日～ 日 ( ～ )	*調整中
小中高校 (西日本)	平成 28 年 月 日～ 日 ( ～ )	*調整中
中堅教員 (10 年経験者等) 研修会		
小中高校 (東日本)	平成 28 年 7 月 27 日～28 日 (水～木)	主婦会館プラザエフ (東京都)
小中高校 (西日本)	平成 28 年 8 月 3 日～4 日 (水～木)	大阪私学会館 (大阪府)

東日本地区は (東京地区と北海道・東北地区と関東地区)、西日本地区は (西日本地区と九州地区) を含む。

## 2010 年代の教育宣言

今や、地球規模で激動する 2010 年代を迎えました。私たち私立小学校は、著しい社会変化と科学技術の高度化が進展する時代の中で、建学の精神を継承するとともに伝統を重んじ、その使命とする理想の教育をめざし、誇りをもって初等教育の先駆的な実践を世に問うてきました。

21 世紀は「知識基盤社会」の時代であるといわれています。その一方で「心」の時代でもあります。私たち私立小学校は、個人の自由と人権および児童一人一人の個性を尊び、その内なる可能性を児童愛をもって引き出す方法を実践・探究し、未来を切り拓いていく基礎的資質と心豊かな人間性を育成します。

併せて、真の世界平和と持続可能な自然環境の維持のために、広い視野をもって考え、共感する力を身につけた児童を育成します。

そのため、私たち私立小学校は、伝統と特色ある教育をさらに充実させ、私学人としての自覚に立ち、お互いに協力結束し磨き合い、わが国初等教育の新たな創造をめざすことをここに宣言します。

2010（平成 22）年 6 月 11 日

日本私立小学校連合会